

治療法の開発

治療器具

P T M C (井上バルーン)

すべらないことが重要 (apex をつきやぶることがある)

起こりうる最悪のことを考えながら開発する。

1977 - Inue バルーンを開発、動物実験開始

1982 臨床応用、世界初の M S の非手術的治療成功例

1984 米国胸部外科学会雑誌に発表する。

1986 ヨーロッパ各地で Live Demonstrator 開始。

1989 米国で Live Demonstrator 開始を開始、同年日本で保険適応となる。

1994 米国で F D A 認可取得。

1998 米国心臓病学会のガイドラインで P T M C は第一選択と認知される。

ひらめきでなく：年中考え、努力していた。